

高速道路、高層ビル、といった巨大建築物から
夢のマイホームづくりのお手伝いまで。
時には環境にやさしい風力発電のプロペラを。
また作業環境の厳しい地でも、お客様の信頼に応え、
私たちの技術・製品が、たくさんのおものを吊り上げてきました。

Lifting your dreams

私たちは「創造・奉仕・協力」の経営理念のもと、
これからも、皆様のさまざまな「夢」の実現をお手伝いします。



Contents

1-4	Introduction 目次／経営理念(事業目的)	25-32	ステークホルダー エンゲージメント お客様への約束 社員との約束 取引先との約束 株主・投資家への約束 社会への約束	41	トピックス
5-6	沿革	33-36	コーポレート・ガバナンス& コンプライアンス	42	会社概要・株式の状況
7-12	Top Message	37-38	業績・財務ハイライト (連結ベース)	43-46	グループ会社・事業所一覧
13-14	価値創造プロセス	39-40	連結財務諸表		
15-16	Value Chain 創る・造る・届ける・サービスする				
17-24	事業セグメント 建設用クレーン 車両搭載型クレーン 高所作業車 その他				

編集方針

経営理念「創造・奉仕・協力」の実現を事業目的として掲げる当社は、「世の中のお役に立つものを提供したい」「事業を通じて世の中に貢献できる企業でありたい」という創業時からの思いを大切に、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化する取り組みを進めています。

本報告書では「財務情報」と、ESG(環境・社会・ガバナンス)などの「非財務情報」を統合して説明しており、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに当社の持続的成長についてご理解を深めていただくことを目的に発行しています。

今後も読者のご意見等を反映しながら、統合報告書としてのより一層の改善に努めてまいります。



当社ウェブサイト(日・英)でも決算やESGに関する情報を開示しています。ぜひご覧ください。

【日】 www.tadano.co.jp
【英】 www.tadano.com

※本報告書における掲載データについて
財務情報・製品情報については2018年度決算報告(2019年3月末時点)のデータを、それ以外は2019年8月末時点のデータを掲載しています。なお、2019年7月末に買収が完了したDemagクレーン事業の財務情報等の詳細は掲載していません。

今日も世界各地の現場で活躍する
タダノの製品。次ページではその
DNAである「創造・奉仕・協力」を
ご紹介します。

世の中のお役に立つ製品を — 経営理念「創造・奉仕・協力」の実現こそが タダノの事業目的です。

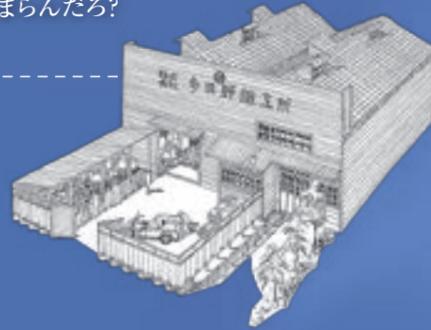


鉄工所をやろう! 我々の技術を活かした鉄工所を。

人様の役に立つ仕事をしていれば必ず成功する。いいか、まず力を合わせて仲良くやるのが基本だ。

それが次に繋がる。それとあんまり人がやっていないような新しい仕事を選ぼうな。

みんながやっとなるようなことの後追いをしてもつまらんだろ?



創業者・多田野益雄の言葉です。

この言葉の根底にあったのは「企業は社会や人との調和の中で生かされている存在」という考え方です。

私たちは調和の中で生かされているからこそ、人のお役に立ち(奉仕)、皆で力を合わせ(協力)、世の中に新しい価値を提供すること(創造)を目指そう、と考えてきました。

経営理念「創造・奉仕・協力」はここから生まれました。

「創造・奉仕・協力」は経営理念であると同時に、私たちが事業をする目的そのものでもあります。

たった4人と24坪の小さな工場から始まった鉄工所が、日本で初めての油圧式トラッククレーン「OC-2」を開発。

その後も大胆な挑戦と全社の一致団結で、さまざまな製品を送り出しました。

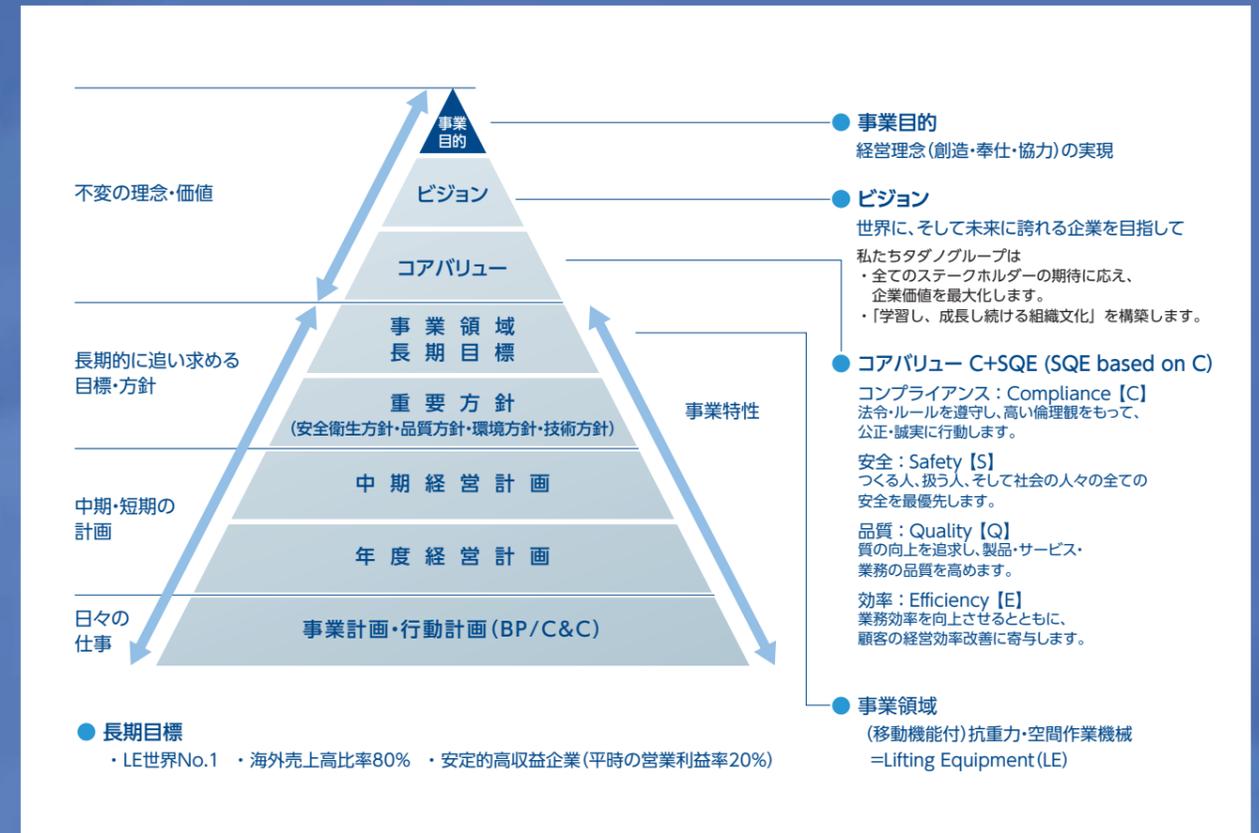
今日も世界のどこかで私たちの製品が、誰かのお役に立っています。

「世の中のお役に立つものを創りたい」「社会の発展に貢献できる企業になりたい」

この思いがタダノの歴史を作ってきました。「創造・奉仕・協力」は私たちのDNAです。

事業の全体像(事業ピラミッド)・LEの製品カテゴリ

■ 事業の全体像(事業ピラミッド)



当社の事業の全体像を表す事業ピラミッドの頂点には、【事業目的】として「経営理念(創造・奉仕・協力)の実現」を位置づけ「到達点のない永遠に目指すべきゴール」として、より高みを目指しています。

また【ビジョン】として「世界に、そして未来に誇れる企業を目指して」掲げています。私たちタダノグループは、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化するとともに「学習し、成長し続ける組織文化」を構築します。

私たちにとって絶対譲れない価値観、それは「C+S+QE (SQE based on C)」のコアバリューです。コンプライアンスは、すべての土台であり安全第一・品質第二・効率第三という優先順位はどんな時も変わりません。但し、三番目の効率を抜きにして企業経営は成り立ちません。そのためにも「安全第一」・「品質第二」を何としても確保しなければなりません。安全も、品質も、効率も、コンプライアンスという土台がな

いと確保できないと考えています。これらは不変の理念・価値です。

その上で、私たちはLE (Lifting Equipment、日本語では(移動機能付)抗重力・空間作業機械)を事業領域と定め、【長期目標】LE世界No.1、海外売上高比率80%、平時の営業利益率20%を掲げ、取り組んでいます。

人口動態的に考えれば、LEは長期的に見て「成長産業」であり、業界も当社も今後のポテンシャルは高いと考えています。ただし長期的には右肩上がりでも、短中期的には需要がアップダウンを繰り返す傾向があります。

LE世界No.1となるために私たちは、「商品力」「製品品質」「(部品を含めた)サービス力」「中古車価値」の4つが高いレベルでバランス良く整った「四拍子そろったメーカー」を目指しています。

■ LEの製品カテゴリ

タダノグループの保有カテゴリ	○	○	○※1		○	○※2	○				

※1 2019年2月に発表されたDemagクレーン事業の買収完了により追加
※2 2018年5月に資本提携したManitex社の製品を追加

2019年、株式会社タダノはおかげさまで創業100周年を迎えました。

1919 - 1954

1919 多田野益雄が北海道にて創業

創業者・多田野益雄は香川県高松市で生まれ育ち、溶接業を立ち上げるべく北海道・旭川へ旅立ちました。その旅立ちの日である1919年8月29日を創業の日と定めています。当時は海外において溶接技術が普及・発展し、日本にも導入されはじめた頃でした。創業者は、溶接の火花に魅了され、世の中のお役に立つことを確信し、北海道の地で事業を興しました。



創業者・多田野益雄

'48 (株)多田野鉄工所を設立、初代社長 多田野益雄 資本金50万円



設立当時の(株)多田野鉄工所

'50 鉄道保線機械を発明、日本国有鉄道へ納入



軌条枕木位置修正機

'54 油圧式産業機械の開発着手

1955 - 1997

'55 日本初の油圧式トラッククレーン1号機(OC-2型)完成

創業以来、さまざまな製品開発へ独自にトライし、溶接や油圧の技術を磨いていた多田野鉄工所は1955年、建設機械雑誌の情報をヒントにオリジナルの「油圧式トラッククレーン」OC-2型を開発生産。日本初の製品ということで全国から注文が殺到し、結果的に当社はクレーンメーカーとしての第一歩を踏み出すことになりました。



OC-2

'59 本社工場を現在地の香川県高松市新田町に新設移転

'60 油圧式トラッククレーンをインドネシアへ初輸出

'61 「創造・奉仕・協力」を社是と定める

'63 カーゴクレーン(TM-2H)を発売 [車両搭載型クレーン]

'70 日本初のラフテレーンクレーン(TR-150)を発売



TR-150

'72 日本初の過負荷防止装置(AML)を開発 東京・大阪両証券取引所各市場第一部に指定替上場

'73 初の海外子会社としてTadano International (Europe) B.V.をオランダに設立

'80 香川県さぬき市志度に志度工場新設

'83 当社初の高所(活線)作業車(AT-136TE、AT-140TE)を発売

'84 北京事務所を中国に設立

'89 株式会社タダノに社名変更

'90 ドイツFAUN GmbH <現 Tadano Faun GmbH>を買収

'91 イースター島アフ・トンガリキのモアイ修復プロジェクト着手

津波や部族間の抗争で倒されたモアイ像を「クレーンがあればモアイ像を起こせるのに」と呼びかけたテレビ番組を社員が目にし「モアイ修復プロジェクト」が発足。政府や海軍、考古学者や島民の協力を得て1995年、アフ・トンガリキに15体のモアイ像が蘇りました。その後も当社寄贈のクレーンが島の人の生活に使われるなど、現在も関係が続いています。



モアイ修復プロジェクト

'93 Tadano America Corporationをアメリカ・テキサス州に設立

'96 Tadano-Multico (S.E.ASIA) Pte. Ltd. <現Tadano Asia Pte. Ltd.>をシンガポールに設立



FAUN親会社との基本合意締結

1998 - 2007

'98 国内最大550t吊りオールテレーンクレーン(AR-5500M)を発売

「世の中のお役に立つ機械を提供したい」との思いから当社は、ラフテレーンクレーン、オールテレーンクレーン、カーゴクレーン、高所作業車をはじめ、さまざまな製品を世に送り出してきました。(写真は国内最大級の550トン吊りAR-5500M)



AR-5500M

98年度、99年度、2001年度と三度にわたり当期損失を計上し、人員削減を実施

'03 中東事務所をUAEに設立

'04 当社最大規模のリコールを届出 (ラフテレーンクレーン約1万6千台)

2004年、岡山県の国道で当社製ラフテレーンクレーンによる死亡事故が発生。安全装置の不具合が要因と判明し12月に8型式16機種15,278台もの大規模なリコールを届出しました。また「建設機械は公道を走らせていただいている」との気づきを得て、当社がCSR(企業の社会的責任)に注力するきっかけともなりました。

'07 香川県多度津町に多度津工場新設



多度津工場

2008 - 2019

'08 事業領域をLEと定める 千葉市に千葉工場を新設 Tadano Faun Stahlbau GmbHをドイツに設立 米国SpanDeck Inc. <現 Tadano Mantis Corporation>を買収



GTC-1200

'10 Tadano Oceania Pty Ltdをオーストラリアに設立

'11 Tadano Brasil Equipamentos de Elevação Ltda.をブラジルに設立

'12 新興国向けカーゴクレーンの生産拠点として、Tadano (Thailand) Co., Ltd.をタイに設立

当社グループ製品が世界中で活躍するようになり、生産拠点多く世界各地に拡大しています。1990年のドイツ・FAUN社の買収を皮切りに、2008年には米国、2012年にはタイ、その後インドやドイツにそれぞれ生産拠点を拡大し、日本で培ったものづくり文化を展開しています。



TTC社員と製品

'13 世界最大級の吊り上げ能力を誇るラフテレーンクレーン(GR-1600XL、GR-1450EX)を発売



GR-1600XL

'14 イギリスのCranes UK Ltd. <現Tadano UK Ltd.>を買収

'15 グループ連結売上高が初めて2,000億円を突破 (2014年度・2015年度にわたって)

'16 Tadano France SASをフランスに設立

'17 タダノグループ中期経営計画(17-19)発表 Tadano Italthai Co., Ltd.をタイに設立

'18 Tadano Nederland B.V.をオランダに設立 Tadano Belgium B.V.B.A.をベルギーに設立 Tadano Chile SpAをチリに設立 モスクワ事務所をロシアに設立 Manitex International Inc.(米国)に出資

Tadano Escorts India Pvt. Ltd.をインドに設立



インド合弁会社設立発表

'19 香川県高松市香西北町に香西工場を新設

LE世界No.1の達成に向けて、新工場が必要と考え、高松市に20ヘクタールの用地を取得し、2019年4月、建設用クレーンを生産する香西新工場が竣工しました。「Next Generation Smart Plant~人と機械が調和し、次世代につながるスマート工場~」をコンセプトに、8月から本格稼働を開始しました。



香西工場

Terex社からのDemagクレーン事業買収を完了